2026年 11月 27日

各 位

会　社　名　あすか製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長 山口 惣大
（コード番号 4886 東証プライム）
問い合わせ先　グループ経営推進部長 市川 学
（TEL. 03-5484-8366）

あすか製薬ホールディングス、「CDP2026」の「気候変動」および「水セキュリティ」において「B」スコア、「フォレスト」において「C」スコアを取得

あすか製薬ホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：山口 惣大、以下「当社」）は、CDP2026の「気候変動」および「水セキュリティ」において「B」スコア、「フォレスト」において「C」スコアを取得しましたので、お知らせいたします。

なお、「水セキュリティ」については、前年度の「B-」スコアから評価が1段階向上しました。

CDPは、世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営する非営利団体であり、企業、金融機関、自治体が、環境への影響を管理するためにCDPのシステムを活用しています。CDPは情報開示組織より報告されたデータを独自手法で評価し、8段階（A、A-、B、B-、C、C-、D、D-）のスコアを付与します。

CDP2025においては、世界の22,100社を超える企業が回答し、日本企業全体ではプライム市場上場企業の70%以上を含む、2,100社以上が情報を開示したとされています。

今回取得の「B」スコアは、自社の環境リスクや影響を把握し、対応に向けた行動を取っている「マネジメントレベル」を、「C」スコアは、環境課題と事業との関連性を認識している「認識レベル」を示します。

当社は、中期経営計画2028において「持続的成長にむけた強みの深化とグローバル展開を支える事業基盤の構築」の実現を目指しています。環境面では、気候変動をはじめとする環境課題を事業に影響をもたらす重要な経営課題と認識し、その対応に積極的に取り組んでいます。

今回の結果を当社グループの環境課題への取り組みに対する一定の評価と受け止め、今後も、さらなる脱炭素化や水資源の保全をはじめとする環境課題への対応を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以 上